



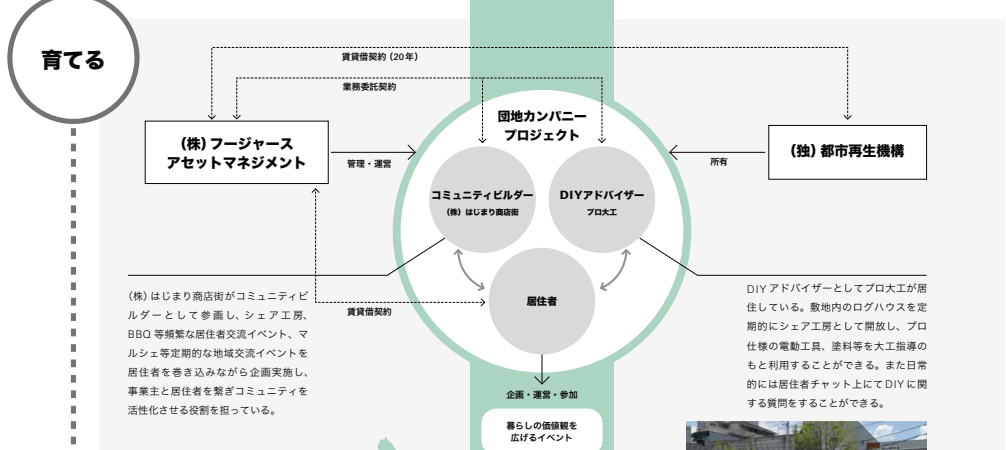
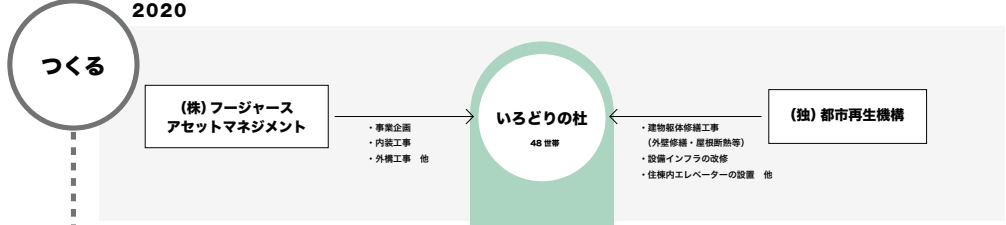
いろどりの杜
 Hands-on Village
 UR 旧東綾瀬団地における公民連携事業による
 賃貸団地再生モデル事業

昭和39年に建設されたRC造4階建てURの旧東綾瀬団地における住棟2棟及びその敷地を活用した公民連携による賃貸団地再生モデル事業である。DIY等により居住者が住まいへ積極的に関わることで、暮らしの質・理解度を高め、より充実した生活を獲得し、またそのプロセスを通じて、居住者同士が助け合う暮らし、さらに地域との関わりを増やしていく暮らしの実現を目指した。

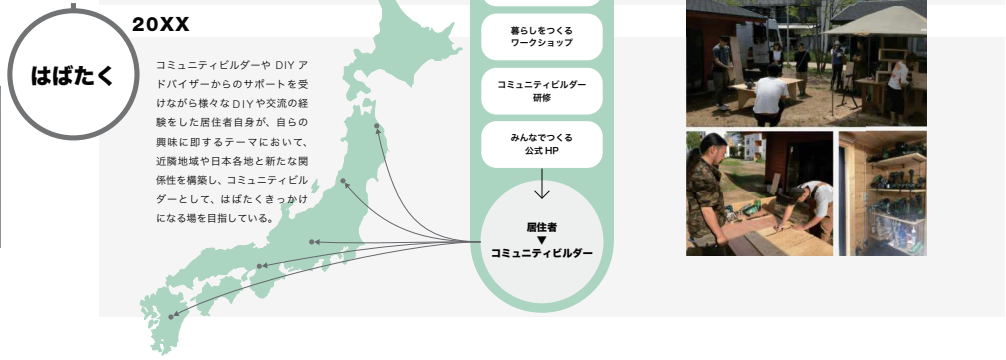
この事業は「つくる」「育てる」「はばたく」の3フェーズに整理される。「つくる」フェーズでは民間企業であるフージャースが、公的機関であるURと連携し、DIY賃貸として住棟再生を行った。「育てる」フェーズは居住者が自分たちの住まいへの関心をより高め、思い思いの充実した暮らしを育んでいけるよう、コミュニティビルダーという賑わいづくりの専門家、及びDIYをバックアップするプロの大工が、ともに住みながらサポートする体制をとっている。定期的な居住者参加型のワークショップを経ながら居住者たちは物理的な住戸の内装に留まらず、その暮らしの価値観自体を育てていく。

そして「はばたく」フェーズではここでの多様な体験や交流を経た居住者自身が、今後、足立エリアにとどまらず、他の様々な地域のまちづくりに関わるコミュニティビルダーとして、はばたいていくことを構想している。

2020



20XX



居住者 BBQ



団地案想 ZOOM会議

居住者チャット

居住者間の交流や意見交換の機会も兼ね、定期的に自由参加のBBQが行われている。また緊急事態宣言中はzoomを活用した団地の未来案想会議を実施するなど、オンラインツールも取り入れて柔軟に交流している。日常的には居住者チャットによって近隣の情報交換やおすそ分け、お話し合い等が行われている。



DIYアドバイザーとしてプロ大工が居住している。敷地内のログハウスを定期的にシェア工房として開放し、プロ仕様の電動工具、塗料等大工指導のもと利用することができる。また日常的には居住者チャット上にてDIYに関する質問をすることができる。

共用空間におけるデザインのポイント



コモンスペース

シェア工房

入居者のコモンスペースとしてシェア工房が設置されている。ここでは月1回DIYアドバイザーがレクチャーを行っており、居住者が思い思いの家具や内装のイメージを持ちより、その具現化に向けたアドバイスを受け、新たな体験を重ねている。



コモンスペース

シェアグッズ倉庫

テントやタープ、BBQグリル等、憧れはあるが買い揃えるにはハードルがある、そんなグッズを無償でレンタルできる倉庫を整備している。未体験のアクティビティを気軽に実践できることで価値観を広げる機会を持ちやすいようサポートしている。



パブリックスペース

歩道状空地

敷地内の外周四辺を歩道状空地として整備・開放することにより、狭くて歩道がなく、危険だった道路の歩車分離を行った。地域に開いたパブリックスペースとして近隣住民の散歩道や児童の通学路として利用されている。



パブリックスペース

共用庭

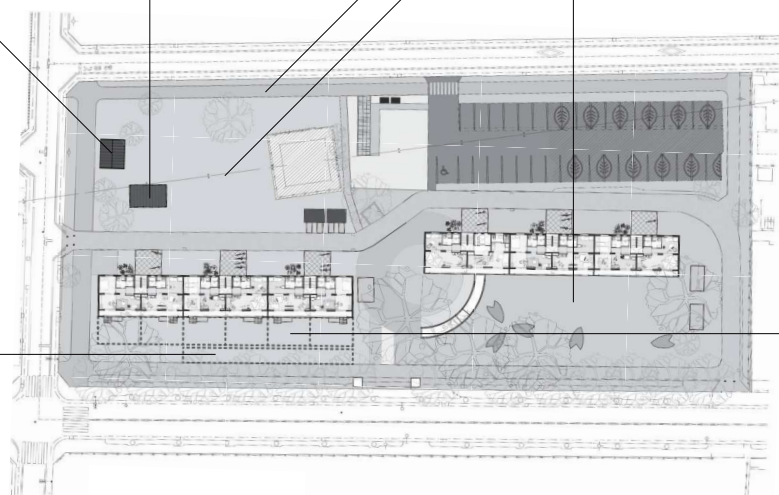
団地の持つ広い敷地を活かして2つの広場を配置し、周辺地域にパブリックスペースとして開放している。日常的にはアウトドア、DIYの他、近隣住民の憩いの場として活用されている。今後は広場を活用してマルシェや古本市等の定期的な開催を予定している。



コモンスペース

シェア庭園

大手町まで電車で約20分という立地にありながら家の敷地で農作物を育てることができる。ここでは希望者がプロのアドバイザーに定期的な講習を受けながら農のある暮らしを始めることができるシェア菜園を整備している。このシェア菜園で収穫した作物をその日の居住者BBQと一緒に食す体験などを行っている。



セミプライベートスペース

専用庭

2棟のうち1棟の1階住戸には専用庭が整備されている。畑の耕作や芝の育成、DIYの作業スペース、憩いの屋外空間として活用されている。囲いをオープンな作りとし、プライベートとパブリックスペースとの境界を曖昧にすることで、隣接するシェア菜園利用者や地域に開放している歩道状空地を歩きかう人々との交流が生まれる空間としている。

内装デザインにおけるポイント



キッチン周りで特に見られる多様なDIY



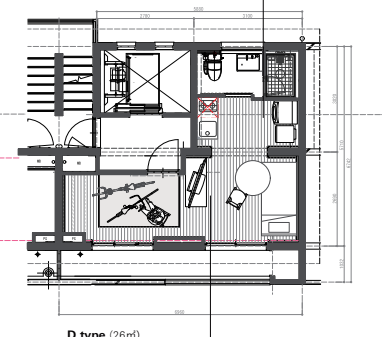
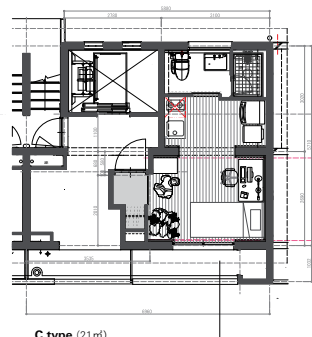
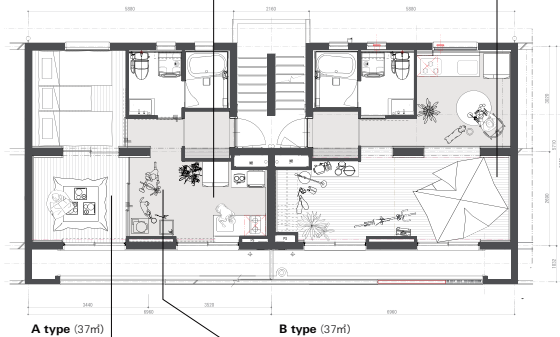
壁面に有孔ボードをDIYし懸せる収納に

専有部

専有部は37㎡が大部分を占める4タイプの住戸が整備されている。築56年であるものの、配管含めた水回り、サッシュ等フルリノベーションを行った。そのままでも居住できるがDIYを行いやすい仕上げとしている。玄関からキッチンへは連続する土間としている。土足の範囲を居住者が好みに応じて設定でき、傷を気にせずDIY作業ができる空間が確保されている。またビス打ちや塗装等DIYの下地になるベニア仕上げの壁面、屋久島地材の無垢床材を設置している。なお入居時に有償で造作オプションも追加できる等、様々なDIYレベルの入居者に対応している。



理想とする生活がDIYによって獲得されていく



内装に限らず椅子やデスクも個性的にDIY



プロジェクターやスクリーンも設置したDIYシアター



前建て無く、開放的なバルコニーで優雅にティータイム



デスク、椅子、本棚、自分が欲しい家具が一体となったDIY